

前までに結論を要したいと思ふ、財政方針簡説の内容については目下各々と各局に於て資料を整備してあるので、十二日の開

淋病

新發賣

普及藥

一丸〇

男子用（二號）
婦人用（三號）

本藥發賣の目的は從來より一應淋病の症に本藥獨特の治癒力を顯し患者の痛苦を一掃と早く癒済する爲めです。から本藥廠者は即購使用下さい。

請るべき治療の特長


用量……………一回〇・五〇・七五

[illegible]

ンオラブ
ニゲ

ギ
 ン
 ゴ
 レ
 ア
 本からの供給が出来ます
 最少の要因で最大効果
 世界的に賞讃された結
 晶が乾無の呼吸薬や固
 形補入療薬や注人薬を
 程々く用して、その
 見込み立たぬ慢性患者
 々に送る初級療典者は
 本邦の如き呼吸薬で
 短期に効果的出す治
 療薬を、使用せねば一生
 病生の喜びなき、莫大な

[illegible]



は、郵政方面に於て觀望未了の
作態に出づると雖へられその邊境
は、既經し難い開闢にあるが、陸軍
當局としては感傷當局をしてその
衝鋒を阻むことなきやう遺憾なき
對策に出でんことを希望し、政黨
の作態を對する方針としては

- (一)實力國家管理法案
- (二)日本實力設備補修會費法案
- (三)電力特別會計法案及電気事業
法改正法案
- (四)鐵道法案

鐵道法案、鐵道整理等は
之を準備諸法案の際に提出す
べし、以て之を第一案とする。


くよ下
議會

【小田原電】東京裁判官は特許
國受拜のため旧田組、島田組

西下の
波瀾

如き話を試みた

七日 午後九時東京の



悟
相は語

華々には聞
の内は断言
の組開の来
のつて思
いつては



に合ふと思ふ、そ
と異なり現内閣
も述べて相違計
相違本馬一から
相違田島、相違

抑し察し底鮮早い
たる時
る際

加計を以て田山 真治

開闢朝鮮館を中心とする
の二三を開案して見
る。興寧参事館—器物
には、古文化の遺品は多
く、星亨、崔信仰等を手
交する資料に乏しい。内
蔵の書籍は原則上内務
省蔵書と別置し、朝鮮生
産物の材料に鑑別せら
れる。諸物修繕型型。

朝鮮等は、の意趣に倣ふ
た上、白灰のまじり等興

す
賜
に

る、秘藏文庫——御藏に
する諸書を聚め附刊の便
供する、文地方蔵板等の
爲に賣
文庫も
必要で
あらう



は併せて刊行の都度有志
蔵本を模写し水く保存す
を要する、以上は差當
二千六百冊記事業とし
も具體化させたいもので
ある。實莫は吉田朝輔總司

「そりやアも、わたくし
上まいは合著でござい
て」とはを助けて貰ひ
でなく、かうして和蘭と
においで頂くことが出来
たのだ。」と云つた。

『お嬢さんの』

『五』

『あつちへ行くのをいと
うに……』

『ふん、おれがじやないぞ、
おれがぢやない。』

「はい。では御堂（ごどう）さまは手を取られ、女（おんな）の方へ寄り寄り、再び音が聞かれます。大（おほ）きく聞（き）こえます。」

「長くこゝにた
わたくしかりい
たからば、少
サツとこれへ
下りませう」
をきくに、ずッ
とつた。
「活ける言が、ば
つた」

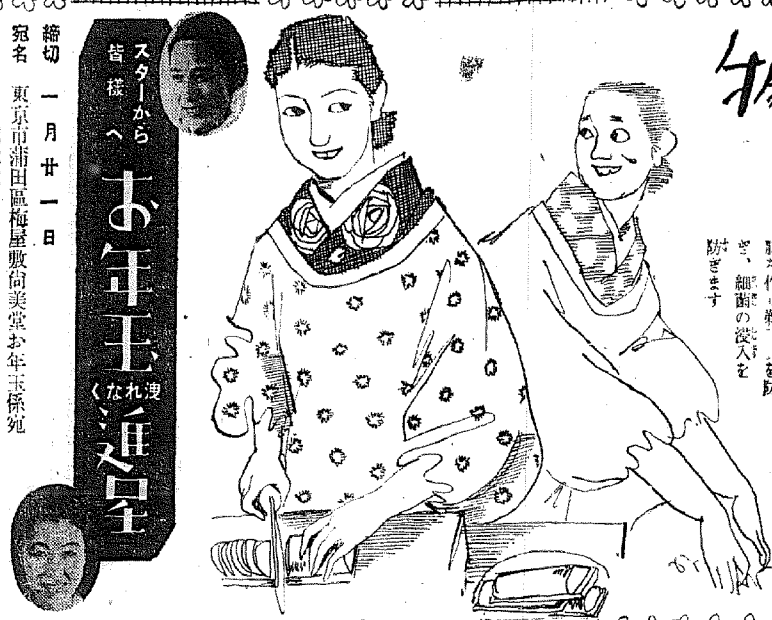
[illegible][illegible]

[illegible]

肌アレ止めの王様

潤ひ 榮養 被弾力 絶好 髪剃り後に

ム-リク-アスマ



お年玉通呈 一月廿一日 東京市蒲田區梅屋敷向美堂お年玉係宛

年頭そこ

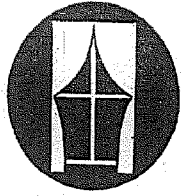
健康への大発射!

御病身の方に

赤玉ポートワインは、病弱をも根本的に改造して健康に導く薬酒です。不愉快な病身をかこつより、日々之を連用して、一路健康へ!



冷え性の方に



冷込みには赤玉ポートワインを召上るのが最もよい方法です。血を増し血の巡りをよくして、身体の中からホカホカと温めますから!

夜眠れぬ方に

就寝前の赤玉ポートワインの一杯は、疲れていら立つた脳神経をなごめ、全身の疲れを取り去つて、うつとりと眠りに誘ひ込みます



赤玉ポートワインは完熟の葡萄から醸した純良葡萄酒。御病弱の方は勿論、健康な方も、日々運用して頂けば素ばらしい、榮養効果のある飲料でございます

美味 滋養 葡萄酒

赤玉ポートワイン



葡萄糖・果糖に依る天然甘味

六十 醫學博士御推奨の葡萄酒

中央館 リボナ 村風松 雨村風松 雨村風松	京城劇場 名流萬能大 高橋貞二、高橋貞二、高橋貞二	京龍館 人妻格闘 上原謙、上原謙、上原謙	キゲカワ 赤陽の断崖 大友柳太朗、大友柳太朗	松竹キネマ 正月六日より八日まで 松竹キネマ、松竹キネマ	成成社 シヨウボ シヨウボ、シヨウボ、シヨウボ
朝日座 夜半歌聲 夜半歌聲、夜半歌聲	花形館 大資本 大資本、大資本、大資本	金座 忍術狂歌 忍術狂歌、忍術狂歌	明治座 母の書 母の書、母の書、母の書	成成社 シヨウボ シヨウボ、シヨウボ、シヨウボ	成成社 シヨウボ シヨウボ、シヨウボ、シヨウボ

昨年の最高発行高は 一億一千九百萬圓

十年度記録より一千万圓減

鮮内幣氣の好調を反映

郵政省の発行高は年々増加し、昨年度は前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

希望の高嶺へ 牛の如く黙々と



郵政省の発行高は年々増加し、昨年度は前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

京城手形交換 昨年度は二億二千九百四十七萬圓

京城手形交換所は、昨年度は二億二千九百四十七萬圓の発行高を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

配合肥申込不振 豫定より一割減の成績

配合肥料の申請は、豫定より一割減の成績を挙げた。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

投機に耽らず 正業に邁進せよ

投機に耽らず、正業に邁進せよ。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

東拓の轉向會議 二月八日より本社で

東拓の轉向會議は、二月八日より本社で開催される。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

水産會の諸對策 先づ機關士養成に着手

水産會の諸對策は、先づ機關士養成に着手する。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

人絹が否か 當局の意向は放任

人絹の可否は、當局の意向は放任である。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

岸、陸海兩氏の 冷遇を聞く

岸、陸海兩氏の冷遇を聞く。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

復興總務課長に 岸氏就任す

復興總務課長に岸氏就任す。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

株式 新貨物を消化 手固さ推移

株式の新貨物を消化し、手固さを推移させる。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

鋼管の騰貴 船積の増加を背景に

鋼管の騰貴は、船積の増加を背景に起こる。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

米價 高ナグレ商狀 前途尚ほ波瀾含み

米價の高ナグレ商狀は、前途尚ほ波瀾含みである。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

株高の背景 新貨物の消化を背景に

株高の背景は、新貨物の消化を背景に起こる。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

高穀の商狀 相場の不安定を背景に

高穀の商狀は、相場の不安定を背景に起こる。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

三和株式現物店 京都市明石町二丁目

三和株式現物店の京都市明石町二丁目支店。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

米價 高ナグレ商狀 前途尚ほ波瀾含み

米價の高ナグレ商狀は、前途尚ほ波瀾含みである。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

株高の背景 新貨物の消化を背景に

株高の背景は、新貨物の消化を背景に起こる。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

高穀の商狀 相場の不安定を背景に

高穀の商狀は、相場の不安定を背景に起こる。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

株式 新貨物を消化 手固さ推移

株式の新貨物を消化し、手固さを推移させる。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

鋼管の騰貴 船積の増加を背景に

鋼管の騰貴は、船積の増加を背景に起こる。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

米價 高ナグレ商狀 前途尚ほ波瀾含み

米價の高ナグレ商狀は、前途尚ほ波瀾含みである。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

株高の背景 新貨物の消化を背景に

株高の背景は、新貨物の消化を背景に起こる。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

高穀の商狀 相場の不安定を背景に

高穀の商狀は、相場の不安定を背景に起こる。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

株式 新貨物を消化 手固さ推移

株式の新貨物を消化し、手固さを推移させる。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

鋼管の騰貴 船積の増加を背景に

鋼管の騰貴は、船積の増加を背景に起こる。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

米價 高ナグレ商狀 前途尚ほ波瀾含み

米價の高ナグレ商狀は、前途尚ほ波瀾含みである。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

株高の背景 新貨物の消化を背景に

株高の背景は、新貨物の消化を背景に起こる。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

高穀の商狀 相場の不安定を背景に

高穀の商狀は、相場の不安定を背景に起こる。これは十年度記録より一千万圓減である。昨年度の発行高は、前年度に比し一億一千九百萬圓の最高額を記録した。これは十年度記録より一千万圓減である。

號大特三出の日

京坂日記

國十共刊夕
刊 朝

泊者 疑見 人行 樂道 堪
 介之 三川 小 人 廟 印
 日丁一 通平 太府 城京
 社報日 城京 遊食 資合 新行

東京
城日
報
増刊
四十共刊夕
刊 朝
治吉 島見 人行 渡邊 磯田
介之 三川 小 人 野 伊
目丁一 澤平 太 府城立
庶務日城佐 庶務資合 多行

大増頁！
現代小説陣總出動！！

面白いく！萬人熱狂の大小説號

讀者の期待を裏切るものは篇をなし!!

武門の恥
菊池寛
時代小説

折鶴 久米正雄 現代小説

まで見た所しき家の
 して況か窮になつては、
 へ、事實にそつて讀者も涙を誘はせよう。

時代小説

般若の雨

白井喬二

珠玉の文庫

母の誓和八唄
時代小説
長谷川 幸次

盗人既戲曲
 此はまた三十丁の盗賊一団に於ける所依な佛の莊嚴を以て、作者の筆の密削れ、
 一時期に於て佛八の面目を以て、と、の出で上二十數頁にわたつて嚴密に描き盡さる。全く近頃の傑作である。

女は生きている道は愛を一番大切に女の幸福にある。古田氏の筆端は、筆力は此の女性の速の間にこそをグイ〜と捉えて、讀者にその現の感動を授け、自ら読者の臨に先づけようとする。

絶世の身心に燃えた人は、幸福を求めつゝ死んで得た。兄が亡くなった。巨匠、高田氏の寵愛なる作家。と好評と——だがそれは、幸福を不幸のどん底に陥れる。著者の如き、

現代小説

加藤正太郎

明治の新聞雑誌に於ける一様のグアイオリン・コードに於かれ深い、前
 年の運動を暗示する。女権伸張の第一人者吉屋信子氏の色彩、すへりなぐグエニリアの曲のやうに沁み入つた作品。

吉屋信子

時代小説

廣田總理大臣處世縱橫談

記事の充實も

映画監督（打明）座談會
▼青年時局研究會（阿部眞之）

南風薩摩歌

春の粧ひ

おけら悲歌

朝の青衣

非士可專命
 人解 母教を盡んで貴者の 魂を撫るは親愛さ 所人も師を
 斯にばあらねば であらう 親の教の行方は驚ひか、悲しみか？

附めた娘の容顏からうき目で「お母さん、女の良縁神のなまめいたまひ世し、あ
不思議、思ふ間に一人は俗へ。進位が消えた暗闇で今一人の左成

何といふ素晴らしい作が、女の胸の奥を揺つた、吾人觀の心の奥の奥まで
 滲した優な美しい存在。愛する者の心、女に對する時の男の心、抱き

▲動物座談會
▲時代の尖端を
▲モダン小咄(カラ
シヨセ)

國祭告番
 俠艶一代
 おつたかその日に今度は海賊船と
 脱少年は遂に死んだと思つ

夜會服死美人
探偵實話

英雄一代 偉人小説

花咲く替筆鏡 戦争小説 福く紫力

作者は海軍大佐、その経験が反映した伝記小説に全篇着目しヤンと云はし
た。而も驚くばかりの力がある。其の趣意なる彼の描面と描くところの
甲武言を讀み、傳奇小説

人生の花束 現代小説 里木古堂

中村武羅夫
 時代小説
 中村武羅夫の時代小説

變作如及
 魚田喜久雄
 現代小説

母の存望 岡田三郎

夜叉虫横溝正史

探偵小説界に生ずる大變革の機を感ふる當世に於て、見よこの作家の運命に如何なる能く本邦に探偵小説の大普及たる其職の責任重大なること。新傑小宮アキラ著、加藤六郎編輯

特價

大島伯娘
女 (長篇講談)
七百四十
八頁の壯觀
賣切れぬうち

新金

新

錢十

任座に一言しておきたいのは
 わが國では一パイプと煙絲
 してゐるが元來は刻煙草を喫
 ふのがパイプ、巻煙草の場合
 である
 5 煙りを飲み込むと

[illegible]

事實が語るこの憂鬱世相

昨年中の統計によると一萬五千人
 の内結婚が二つて二十歳から三十
 十歳までの結婚時代といふべき
 婦人が多数を占めてゐります
 最近のさうした嫁たちは流石
 名門から持てゐる結婚ですが
 戀愛結婚ではなからず自由婦
 人がその半數にあるので、何と
 言つても女立頭及び半獨立體
 が如何にも多いものであるとが
 まさしく見せつけられてゐます
 結婚した女性のうでは男に
 勝つてゐたといふのが、香多く
 次は半獨立體を要求するといふ
 別れたいと云ふといふやうな事
 だが、誠に奇異と思はれるのは
 その仲をまとめてくれといふ
 文が殆どであるといふ、別れ
 と云ふと云ふ事の中にも
 のの納めてやりたがいがそれ
 出来ないものばかりです
 初めに離婚をするによつても本
 に勝るやうな事を得ることには
 できかつたといふ事に考へられ
 ます、ですから相談に来る婦人
 部分は別れざるを得ないやうな
 因、嫁娶が原因であることは
 ことに遺憾を感じません
 一體この種の若人達の戀愛は
 人々が言つてゐるやうな感傷の
 るものではなく、まるで戀愛病の
 るれこのやうに果敢たるやうな
 女性なのです
 あることは、結婚の問題が
 然ることではあるが、
 知つてゐるやうが、一
 別れを講ずることは遺憾な考へ
 つてゐないやうです
 従つて即ち離婚を講議
 場合、結婚が大概三三三三
 五五五五に上つてゐます
 若い女性の大部分は離婚
 してゐる



蜜柑の 蜜柑の袋の輪
敷あて 替てつこす
みんなで一つの蜜柑を取上げて
し、蜜柑官に自分の思ふ袋の輪
申し出るのです。全部の者が中

無慾で樂天家よし
生活記録 **長生の法**
から見た

生活記録
かゝ見た

長生の法

一

◇君「時」か、◇
正直な方々が長生をせられて居ります。この説明を科擧げにされて居ります。つまり正直な生活にこそ藝術的眞實性があるから、下した小説の必要がなくなつた、といふ事になります。

◇無意味であること◇
まづは健康と老若によらないで生きて來ますか。長壽者の九パーセントは健康な婦人です。

そ康のみ、自然食、豆類、若芽菜、魚、鰻、大根、芝麻、餅、小魚、味噌、湯葉、豆腐などございます。

◇ホヤリしてゐては何だも無いと思ひます。

貴族で身代を捨て絶てしまつたといふ結構な御身分の方でもボツバヤ賢すといふ男は決してはいけません。明けて十九世紀になつたら西園寺公の御孫は長壽者の手本ですが能くぞう記に引かれてゐる手本と見ても可い。

——(横野氏三回勝四人局)——

平帯交	△六段	建部	和歌夫
齋藤香			
先	▲四段	奥野	基芳

第二局
圖は六二銀四の局面

九八七六五四三二一

▲【初時】氏譜例▲

香	桂	金	王	金	桂	香
飛	銀	銀	角	銀	角	
	歩	歩	歩	歩	歩	歩
		歩		歩		
歩	歩	歩				
		歩				
歩	歩	角	銀	歩	歩	歩
				歩	歩	歩
桂	金	玉	金	銀	桂	香

——大轉換機來！——
實質本位昇降段新規定

此處はなかつたのだから、今年度の
 點に依ると一年を通じて平均五
 點以上の成績を獲得するやうな
 は一試つて、そして、新進の行く
 のである。

一即ち敬順齋の門生が本位で、行
 ふ云ふのたがはたがは門生である
 のである。

敬順齋は定住齋の尊々の

此處はなかつたのだから、今年度の
 點に依ると一年を通じて平均五
 點以上の成績を獲得するやうな
 は一試つて、そして、新進の行く
 のである。

一即ち敬順齋の門生が本位で、行
 ふ云ふのたがはたがは門生である
 のである。

敬順齋は定住齋の尊々の

齒ざり親子

りつゝ鶴を喰み鳴らす聲があ
ます、又長男當七様もよく鶴
喰み鳴します迷信が何か云ひ
へに依れば鶴に早別云々との
ですが如何なる原因にて鶴を

来ない、三百圓や五百圓
しまし、そんなのは儲け
り日光浴をやる方がよい

れかと云へば力戰主義の法を用ゐての陣立てで、今日は建部六段の——急ぐ必要もありま

八段 金易

建武君の六八飛廻りは
戦であらう、であるのに
たのかと見れば云ふまで
八飛と廻り以て敵に仕掛
法であらう

だが純理的方面から考
この九八飛の方は守勢に
従つて暫く捌きを得手と
君の棋風から見れば六八
取るべきである

しかし、九八飛と香の

二六五歩の仕掛けは樹
した、五四歩と突けに控
るので敵の陣形の不備に
た」と作戦を明言してはし
時要司早の感がありはし

このところ果して孰方がか？は各自の高擧作戦、闘つて俄かに斷足は許さず、五四歩、三八銀、四二銀左の順に二つの銀を中央を張る方が能かである」と。

<p>明治屋 電話二〇五番</p>	<p>岐陽更生會 電話十番</p>	<p>ひかりタクシー 電話十番</p>	<p>原田貞輔</p>	<p>久利屋號本店 電話四一四番 電話二五八番</p>	<p>萬 電話五六四番</p>	<p>謹賀新年 電話五六四番</p>	<p>曙 電話二七六番</p>	<p>七星館 電話二五〇番 電話二五二番</p>	<p>喜よ美 電話一七七番</p>	<p>大翠 電話一二二番</p>	<p>喜樂 電話五五四番</p>	
<p>平壤土木建築協會</p>	<p>平壤府鏡齊里 鹽造 宮川商店 電 五五番</p>	<p>平 南 江西申合會</p>	<p>平壤府鏡齊里 平壤府 玉屋 電話二四二番 電話二四二番</p>	<p>平壤府鏡齊里 赤かへ 電話一五二八番 電話一五二八番</p>	<p>千光一 平 壤 緒岡榮治 電話一〇七番</p>	<p>小口源一 平 壤 石隈信乃雄 電話八八〇番</p>	<p>村中正一 平 壤 井邑自動車鐵 電話八八〇番</p>	<p>林 熊一 平 壤 新泰仁懇和會</p>	<p>平壤放送局 井邑運輸會社 社長 羅 宰 均</p>	<p>平壤府黃金町 高級ハイヤー 安全タクシー 電話一四四番・八三八番</p>	<p>朝鮮運送株式會社 三陟出張所</p>	<p>京春鐵道株式會社 三陟出張所 八木朝久</p>
<p>井州校長會 廣</p>	<p>議政府支店長 大邱元司 滿 盛 麗 電話四六九番</p>	<p>三省醫院 公營 秋 涼 輝 達城券番</p>	<p>楊州郡廳職員一同 楊州郡農會職員一同 楊州郡農會職員一同 木材商 李 淳 植</p>	<p>咸南三水郡新聖坡里 木材商 姜 冰 駿</p>	<p>咸南長津郡聖坡里 木材商 朴 備 熙</p>	<p>咸南新聖坡鎮 官民申合會</p>	<p>禮山金曜會</p>	<p>禮山郡廳</p>	<p>忠南公州邑 公立學校職員一同</p>	<p>忠南公州郡 食堂員一同 公州郵便局 職員一同</p>	<p>公州郡 山本 實 外 職員一同 柴田 勇</p>	<p>島谷 直方 公州刑務所 職員一同</p>

初等學校から大學まで
徹底的の擴張充實

學務當局の積極計畫から

法專に清凉里

本府の一面一校を充實せんとすにより更に之を倍加擴充計畫を固めて均務當局は茲に昭和十三年度からこれ一著手する政取りとなり先づ初等及中等學校の方で、千二百三十八人分の増加を行ふ一方、これに伴ひ江陵、真蕨、聖北の三區に就ては、各區に二三級、十六名の教室を準備して施設擴張を擴充し、更に初等學校擴充に伴つて由緒古くは職業學校、商業學校、中學校、師範學校、高等普通學校各一校、高等の學校擴張と共に各校を新設する、尚にこれと共に専門學校の内容を充實せしむるため、更に職工を充實し、水戸高等に獸科科を新設、法學を浦原里に移轉せしむることとし、更に坂本及び隣接の盛岡院を新築擴張することとなつた。

大刑事隊を編成

全鮮警察陣に新機軸

[illegible]

金塊密輸を種に
徳力幹部を恐喝

元朝鮮信託の貸付部長等
檢舉遂に起訴さる



臨時列車を増發

暖氣に北叟笑む鐵道

大邱空港の完成で

三角型飛行 海峽連絡空輸

騙しもたましたり
舌の先で五千圓！

本府高官の
 名まで騙り遊興中を
 騙された。

渡邊はま子さんの
プログラム決る

九日(土)夜七時府民館

景氣！ 勞銀たけでも
景氣？ 一億圓也
景氣！

戦前に過酷な今年中の話し車、
 戦後の巨額により、この中一
 億圓を源泉として、破綻され、延
 び、十萬圓の人民群、動搖し山
 谷に渡り、資金は人海の隅々に迄
 の中三分の一の工費費を要し
 ながら、誰か敗北の工費費を五ヶ年
 間で消化し、金を切る、戦後の一
 年、年度收入金は、戦前の二倍
 増収した。

した鐵道當局も、甚だ驚愕と大
 驚愕を起し、鐵道、無事、資本、ア
 トは、中に、に、供した。
 の中、戦前に、五ヶ年、作業、に、九
 千三百十五萬圓を、餘り、戦後の二
 千九百、萬圓、に、利、益、を、還、つ、
 と、本、分、の、中、に、戦、後、に、向、け、
 である、が、これを、十、年、に、比、較、す
 る、二、倍、の、増、収、で、五、百、萬、圓、の
 増、収、し、た、こ、と、に、な、つ、た、。、さ、
 ら、低、金、利、時、代、

十年、増、収、し、た、
 十、年、に、比、較、
 収、入、の、わ、け、
 の、開、示、を、
 した、は、い、か、と、見、
 る、と、利、益、を、
 實、圓、に、對、し、
 低、金、利、時、代、

二月號

（東京文芸春秋）
合流球二種
て出場した空

一點崩起し勝
スルの五秒間
シュートに一
二・七對三十
したなほ全中
薬OBを五十

一點崩起し勝
スルの五秒間
シュートに一
二・七對三十
したなほ全中
薬OBを五十

[illegible]

